

海軍公報 (部内限) 第四千四百二號

昭和十八年六月一日(火)
海軍大臣官房

○令達

官房第五九九號ノ二

故元帥海軍大將正三位大勳位功一級山本五十六ノ葬儀ニ儀仗隊トシテ海軍銃隊一大隊及軍樂隊一隊ヲ參加セシメ葬儀當日本邦竝ニ占領地ニ在ル海軍艦船ヲシテ半旗ノ禮ヲ施行セシメラル

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣

官房經機密第五號ノ二

昭和十八年官房經機密第五號中左ノ通改正ス

昭和十八年五月二十九日

海軍大臣

〔第一補充兵及第二補充兵ニシテ海軍又ハ陸軍ニ於テ教育召集ヲ令達セラレ旅行スル者ノ旅費ハ海軍内國旅費規則第二十八條第一項第六號ノ規定ニ準ジ〕ヲ「第一補充兵及第二國民兵ニシテ陸軍ニ於テ召集ヲ令達セ

ラレ旅行スル者ノ旅費ハ海軍内國旅費規則第二十八條第一項第六號ノ規定ニ依リ」ニ改ム

(參照) 昭和十八年一月八日公報(部内限)

官房經第六一六號

昭和十五年官房第三九三二號中左ノ通改正ス

昭和十八年五月二十九日

海軍大臣

第一項ヲ左ノ如ク改ム

當分ノ間所屬ヲ轉ジタル軍人ニシテ俸給支給定日前退應スルモノニ支給スベキ共ノ月ノ俸給ハ海軍給與令施行細則第十三條第一項及第二項ノ規定ニ拘ラズ前應退應ノ際俸給月額ノ二分ノ一ヲ支給シ後應ニ於テハ支給定日ニ月額ノ二分ノ一ヲ支給ス但シ戰地ニ在ル海軍ノ艦船部隊及其ノ他ノ各部ニ轉ズル者ニ前金拂ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

(參照) 會計法規類集三卷二一〇頁

0354

官房鑑機密第三號ノ五九

昭和十八年五月二十九日

海軍大臣

各鎮守府司令長官
各警備府司令長官 殿

兵器簿ノ件通達

各艦船、部隊、學校兵器簿 水雷長 主管之部中左記ノ
通改正ス

記

- 一 水雷長主管 兵器簿ヲ別冊トス
- 二 機雷長主管兵器簿別冊作製要領
 - (イ) 既配付ノ戰艦、海防艦、砲艦、特務艦（工作艦ヲ除ク）、掃海艇、掃海特務艇、驅潛艇、驅潛特務艇、敷設艇、防備隊、特別根據地隊、特別陸戰隊、機雷學校兵器簿ハ表紙ニ 水雷長 主管トアル内水雷長主管ノ字句ヲ削除シ機雷長主管兵器簿トシテ使用スルモノトス
 - (ロ) 前項以外ノモノハ 水雷長主管 兵器簿ヨリ別表（部分）記載ノ用紙ヲ拔取リ之ニ兵器簿表紙（表紙ハ艦政本部ヨリ各軍需部ニ後送ス）ヲ添エ機雷長主管兵器簿トス

三 水雷長主管兵器簿別冊作製要領
前號(ロ)項ニ依リ拔取リタル殘部ヲ取纏メ現表紙水雷長 主管トアル内機雷長主管ノ字句ヲ削除シ水雷長主管兵器簿トシテ使用ス
(別表)

部	別	記	事
各種機雷之部			
機雷附屬具及諸要具之部			
各種機雷補用品之部			
投射機之部			
各種爆雷之部			
爆雷投下裝置之部			
各種爆雷補用品之部			
爆雷諸要具之部			
掃海之部			
各種掃海具補用品之部			

上掲各用紙ヲ拔取リ機雷長主管兵器簿ヲ製本ノコト

0355

妨掃具之部
探信機之部
水中聽音機之部

官房教機密第一三一號

大東亞戰爭中鎮守府司令長官ハ左ノ各號ニ依リ特修兵ニ非ザル下士官及兵ヲ銓衡シ之ヲ普通科特修兵ト爲スコトヲ得

昭和十八年六月一日

海軍大臣

内令提
要登載

一 本令ハ作戰其ノ他ノ都合ニ依リ各種普通科練習生受驗ノ機會ヲ失シ若ハ其ノ機會ナキ者又ハ輸送等ノ關係ニ依リ轉出困難ナル志願者中現役下士官及兵長並ニ服役延期者及應召者ニ之ヲ適用ス

二 特修兵ニ爲シ得ル範圍ヲ左ノ通トス

掌砲兵
掌測的兵
掌水雷兵
掌水測兵
掌機雷兵

掌帆兵
掌氣象兵
掌暗號兵
掌電測兵
掌航空兵器兵
掌整備兵
掌機兵
掌內火兵
掌電機兵
掌工作兵
掌看護兵
掌經理兵
掌衣糧兵

三 選拔資格ヲ左ノ通トス

(イ) 品行方正ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者

(ロ) 特修兵ト爲スニ適當ナル性能學力ヲ有スト認ムル者

(ハ) 志望術科ニ對シ同一ノ配置ニ在ルコト連續一年以上(掌經理兵志願者ニ在リテハ三月)ニシテ實務ノ成績優秀普通科特修兵ト同等以上ノ技備ヲ有

スト認ムル者

(ニ) 特技兵ニ非ザル者

四 銓衡試験ハ毎年六月、十二月ノ二回及共ノ他必要アルトキ左ノ要領ニ依リ之ヲ行フ

(イ) 試験科目

志望術科

讀書

(二) 算術

(三) 作文(掌經理兵、掌衣櫃兵志願者ノミ)

(ロ) 試験成績ハ各科目ノ得點百分ノ六十以上ノ者ヲ

合格トス

(ハ) 銓衡試験ハ豫メ送付セル試験問題ニ依リ指定期

日ニ聯合施行スルヲ立前トス但シ作戦行動共ノ他

ニ依リ聯合施行シ難キ各部ニ在リテハ所屬長官ノ

認許ヲ受ケ單獨施行スルコトヲ得

(ニ) 試験問題、試験實施要領及採點標準ノ作製擔任

區分ヲ左ノ通トス

掌砲兵(水上、海上對空)、掌測的兵

横須賀海軍砲術學校長

掌砲兵(陸戰、陸上對空)

館山海軍砲術學校長

掌水雷兵、海軍水雷學校長

掌水測兵、掌機雷兵

掌帆兵、掌氣象兵 海軍機雷學校長

掌暗號兵、掌電測兵 海軍航海學校長

横須賀海軍通信學校長

(防府海軍通信學校長ト協議ス)

掌航空兵器兵、掌整備兵

第十八聯合航空隊司令官

掌機兵、掌内火兵、掌電機兵

海軍工機學校長

掌工作兵

海軍工作學校長

掌看護兵

横須賀海軍病院長

(練習部ノ在ル海軍病院長ト協議ス)

掌經理兵、掌衣櫃兵

海軍經理學校長

五 鎮守府司令長官ハ艦船部隊共ノ他各部(當該鎮守

府在籍下士官、兵ノ勤務スルモノニ在リテハ其ノ所

屬ノ如何ヲ問ハズ)ノ長ヲシテ特修兵志願者ニシテ

第三號ノ規定ニ該當スルモノニ對シ身體検査(海軍

身體検査規則第六章及第七章ノ規定ニ準ズ)ヲ行ヒ

第四號ニ依ル銓衡試験合格者ニ付特修兵別ニ選拔表

(別表) フ調製シ報告セシムベシ

鎮守府司令長官ハ普通科特修兵タラシムルニ適當ト認ムル者ヲ銓衡シ海軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ各種普通科練習生教程卒業者ト看做シ普通科特技章ヲ付與ス

附則

昭和十五年官房機密第二一五三號ハ之ヲ廢止ス

(別表添)

○通牒

官房備機密第一六七號

昭和十八年五月二十六日

關係廳長殿

海軍次官

昭和十九年度陸軍戰時召集延期ニ關スル件申進

昭和十九年度陸軍兵役關係者ノ戰時召集延期人員ヲ別紙ノ通定メラレ候

(別紙添)

官房第三三三號

昭和十八年五月三十一日

關係各廳長殿

海軍省副官

官報購讀代拂込ニ關スル件照會

首題ノ件別紙ノ通内閣印刷局業務部發行課長ヨリ依頼有之候條拂込未済ノ向ハ至急同課宛拂込相成度

(別紙)

昭和十八年五月十七日

内閣印刷局業務部發行課長 渡邊 隆

海軍省副官殿

官報購讀代未納金ニ關スル件

貴省管下各艦船ノ購讀ニ係ル昭和十六年度及同十七年官報代金中左記ノ通り未納有之當局歳入金整理上支障有之候條至急納付方ニ關シ何分ノ御盡力相煩度右及御依頼候

記

一 昭和十六年度 貳百六圓拾五錢也

一 昭和十七年度 貳千六圓五錢也

經給第八八號

昭和十八年五月二十九日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

所得稅ノ取扱ニ關スル件通牒

本年四月海軍給與令中改正ニ依リ上等下士官一級及二級ノ俸給ハ月額五十五圓四十錢ヲ超ユルコトナリタルモ所得稅徵收手續上從來通課稅失格者トシテ取扱フ義ト了知相成度

追テ既ニ徵收濟ノ分類所得稅ハ其ノ儘据置整理差支無之候

艦本機密兵無線第三五一號

昭和十八年五月

日

海軍艦政本部總務部長
海軍航空本部總務部長

橫須賀、吳	海軍軍需部長
佐世保、舞鶴	海軍總務部長
海軍航空技術廠	海軍航空廠長
第三十、第二十二	海軍航空司令
第三十、第四十一	海軍航空司令
第五十、第六十一	海軍航空司令
霞ヶ浦、横須賀	海軍航空司令
鈴木、吳、佐伯	海軍航空司令
佐世保、大村	海軍航空司令
舞鶴	海軍航空司令
各廳	海軍航空司令

外戰部隊外地所在海軍航空廠ニ對シ空輸補給スル航空機ニ裝備スバキ無線兵器ノ裝備實施處理其ノ他ニ關スル件照會(通信長主管)

昭和十七年一月十四日艦本機密兵無線第一〇號首題照會中第一項但書(二)ノ次ニ左記ヲ追加致候

記

(三) 假稱二式空六號無線電信機ノ裝備ハ當分ノ間海軍航空技術廠之ヲ擔任シ裝備標準ハ大艇全機一式陸攻八機ニ對シ一機トス

○ 辭 令

帝室林野局技師 太宰哲一郎

海軍航空本部ニ於ケル木材材料研究業務囑託ヲ解ク

(昭和十七年 海軍省)

(各通)

京都帝國大學教授 梶田 茂
臺北帝國大學教授兼臺灣總督府中央研究所技師 森下 薫

ニユーギニア民政部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

(各通)

臺北帝國大學助手 岡田 豐日
同 謝 有 福

0359

熱帯醫學研究所技手

伊藤 益二郎
ニユーギニア政府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏
任官待遇トス(以上昭和十七年十月三十一日現在)

太田 常利

支那方面艦隊ニ於ケル業務囑託ノ報酬トシテ金九百
四拾圓ヲ贈與ス

支那方面艦隊ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(昭和同)

遞信局書記 山崎 廣吉

海軍省事務ヲ囑託ス(昭和同)

横井 光儀

第三百三海軍經理部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス(昭和同)

木 久 隆

佐世保第二海兵團教授ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト
ス

淺野 清

ニユーギニア政府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏
任官待遇トス(以上昭和同)

田中 又四郎

第二遣支艦隊ニ於ケル水先業務囑託ヲ解ク(昭和同)

木崎 健一

(各通)

山田 揚四郎
井垣 文夫
第二海軍燃料廠ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(昭和同)

平本 盛衛

南西方面海軍民政政府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏
任官待遇トス(以上昭和同)

飯田 信光

第二海軍火藥廠工員養成所教務囑託ヲ解ク(昭和同)

足立 邊

セレベス民政部事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
(昭和同)

鈴木 一男

マカツサル研究所ニ於ケル醫療業務ヲ囑託ス
但シ報酬年額貳千六百圓ヲ給シ部内限任官待遇ト
ス(昭和同)

小田 積美

第五艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託ス
但シ報酬年額貳千四百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官
待遇トス(昭和同)

福岡 正夫

セラム民政部附ヲ免ス(昭和同)

嶺山監督局屬

海軍公報(部内限) 第四百四百二號 昭和十八年六月二日

五三五

0360

海軍航空本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス 遠藤 宗六

第二南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス 大友 信太郎

但シ報酬年額千八百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス 瀧澤 熊男

南西方面海軍民政府ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額九百六拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス 林 周介

南西方面海軍民政府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス 森田 忠次

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス 白井 謹一郎

(各通) 井尻 竹造

海軍省事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス

(各通) 千參百圓 山本 新助
千百參拾圓 宮川 圭一郎

第一〇一海軍經理部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス 岡田 寛美

第二南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千百參拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上ハ同)

艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス 大湊海軍經理部 本多 保一
員海軍主計大尉

右同分任出納官吏ヲ免ス(支出官) 海軍主計大尉 芝 直昭
長) 海軍省經理局

○ 雜 款

○司令驅逐艦復飯 第九驅逐隊司令ハ司令驅逐艦ヲ一時白雲ニ變更中ノ處 五月十五日薄雲ニ復飯セリ

○司令潜水艦變更 第十二潜水隊司令ハ五月十日司令潜水艦ヲ伊號百七一 潜水艦ニ變更セリ

○轉勤赴任先

當分ノ間當隊ヘノ轉勤赴任左ニ依ラレ度
千葉縣館山海軍航空隊(安房北條驛下車)
(第二八一海軍航空隊)

○開廳

沼津海軍工廠六月一日開廳セリ

○工場開設

第十一海軍航空廠誌間補給工場ハ六月一日香川縣三豊郡誌間町ニ開設セリ

○事務繼承

横須賀海軍工廠沼津分工場及沼津海軍工廠(假稱)設立準備員事務所關係一般事務ハ六月一日ヨリ沼津海軍工廠之ヲ繼承セリ
照會ニ對スル回答等ハ沼津海軍工廠宛送付相成度

○分工場閉鎖

横須賀海軍工廠沼津分工場ハ五月三十一日限リ之ヲ閉鎖セリ

○事務所撤去

第四十四號驅艇艇裝具事務所ヲ五月十五日撤去セリ
第十七號掃海特務艇艇裝具事務所ヲ五月二十六日撤去セリ

沼津海軍工廠(假稱)設立準備員事務所ヲ五月三十一日撤去セリ

(別表)

海軍特修兵候補者選抜表

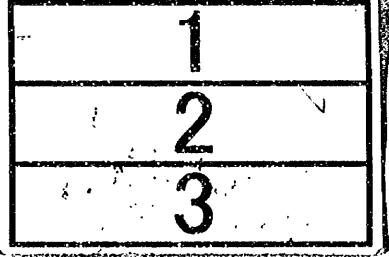
(昭和十八年六月一日海軍公報(部内限))

所轄名

	序 順 抜 選	
	體 身	
(ス入記テ以ヲ字數洋)	日 月 年 級 進 職 現	
	日 月 年 期 滿 役 現	
(ス入記ヲカルナ番何中人何ク如ノ「 $\frac{25}{450}$ 兵新5-8」)	績 成 業 卒 兵 新	
(ス入記ク如ノ卒三中 卒小高)	歷 學 ノ 前 籍 入	
(ス入記ヲ比 分百點得驗試)	書 讀	試 驗 成 績
	術 算	
	文 作	
	(科 術)	
	均 平	
(ス入記ヲ回三ノモノ近最)	績 成 (技 競) 定 檢	
(ス書朱ハ罰)	罰 賞	
(ス入記付ニ歷經ルア係關ニ科術願志)	歷 經	
	置 配 現	
(ス入記テ以ヲ語評)	務 勤	考 課
	行 性	
(記ヲノモルム認トルズ長ニ特他共技體技武藝技術學ス入)	能 技	
(ス入記ニ明簡ニ的括總)	評 總 物 人	
	職 官	
年 齡 ハ 試 驗 時 ニ 於 ケ ル モ ノ ヲ 年 月 ヲ 以 テ 記 入 ス	年 氏	名
	年 齡	
	號 番 籍 入	

0363

分割撮影ターゲット

<p>分割した 部分の 撮影順序</p>	
<p>分割撮影 した理由</p>	<p>A 3版以上のため</p>
<p>文書等名</p>	<p>昭和十九年度 召集延期候補者人員配當表</p>
<p>上記のとおり分割撮影したことを証明する。</p>	

0366
0365
0364

(別紙)

昭和十九年度召集延期候補者人員配當表

(昭和十八年六月一日海軍公報(部内限))

區分	部名	配當人員		國民兵役		總計
		甲	乙	甲	乙	
陸軍	軍令部	0	0	0	0	0
	海軍大臣官房	0	0	0	0	0
	海軍省軍務局	0	0	0	0	0
	同、兵備局	0	0	0	0	0
	同、人事局	0	0	0	0	0
	同、教育局	0	0	0	0	0
	同、軍需局	0	0	0	0	0
	同、經理局	0	0	0	0	0
	同、法務局	0	0	0	0	0
	海軍運輸部	0	0	0	0	0
	大阪海軍運輸部	0	0	0	0	0
	橫須賀鎮守府	0	0	0	0	0
	吳鎮守府	0	0	0	0	0
	佐世保鎮守府	0	0	0	0	0
	舞鶴鎮守府	0	0	0	0	0
	東京海軍法會議	0	0	0	0	0
	橫須賀海軍法會議	0	0	0	0	0
海軍法會議	0	0	0	0	0	
大湊警備府	0	0	0	0	0	
橫須賀海軍刑務所	0	0	0	0	0	
吳海軍刑務所	0	0	0	0	0	
佐世保海軍刑務所	0	0	0	0	0	
舞鶴海軍刑務所	0	0	0	0	0	
橫須賀第二海兵團	0	0	0	0	0	
舞鶴第二海兵團	0	0	0	0	0	
大竹海兵團	0	0	0	0	0	
合計		0	0	0	0	0
國民		0	0	0	0	0
甲		0	0	0	0	0
乙		0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0
總計		0	0	0	0	0
海軍	海軍建設本部	1	0	0	0	1
	海軍航空本部	1	0	0	0	1
	海軍艦政本部	1	0	0	0	1
	第四海軍建築部	1	0	0	0	1
	大湊海軍建築部	1	0	0	0	1
	舞鶴海軍建築部	1	0	0	0	1
	佐世保海軍建築部	1	0	0	0	1
	吳海軍建築部	1	0	0	0	1
	橫須賀海軍建築部	1	0	0	0	1
	海軍施設本部	1	0	0	0	1
	德山海軍港務部	1	0	0	0	1
	大湊海軍港務部	1	0	0	0	1
	舞鶴海軍港務部	1	0	0	0	1
	佐世保海軍港務部	1	0	0	0	1
	吳海軍港務部	1	0	0	0	1
	大阪海軍港務部	1	0	0	0	1
	大湊海軍經理部	1	0	0	0	1
舞鶴海軍經理部	1	0	0	0	1	
佐世保海軍經理部	1	0	0	0	1	
吳海軍經理部	1	0	0	0	1	
橫須賀海軍經理部	1	0	0	0	1	
大湊海軍軍需部	1	0	0	0	1	
大湊海軍軍需部	1	0	0	0	1	
舞鶴海軍軍需部	1	0	0	0	1	
佐世保海軍軍需部	1	0	0	0	1	
吳海軍軍需部	1	0	0	0	1	
橫須賀海軍軍需部	1	0	0	0	1	
合計		17	0	0	0	17
國民		0	0	0	0	0
甲		0	0	0	0	0
乙		0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0
總計		17	0	0	0	17
水路		0	0	0	0	0
第二海軍技術養成所	0	0	0	0	0	0
第一海軍技術養成所	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	0
國民		0	0	0	0	0
甲		0	0	0	0	0
乙		0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0
總計		0	0	0	0	0

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十八年六月一日(火)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房設機密第一四八三號

特設設營隊及特設建築部ニ要スル人員及資材ノ補給並ニ特設建築部ノ工事費整理ニ關スル擔任區分左ノ通定

昭和十八年五月二十九日

海 軍 大 臣

特設設營隊及特設建築部ノ人員資材及工事費整理區分

種 別		方 面		被 補 給 部 隊 廳		内 地 擔 任 廳		記 事	
員	人	第一臨時設營隊	第十二設營隊	第十四設營隊	第八建築部	第四建築部	施設本部補給部	一 設營隊初度準備ハ所管鎮守府所屬ノ建築トス	上記以外ノ特設建築部及特設設營隊ハ所管鎮守府所屬ノ建築部補給ス

海軍公報 (部内限) 號外

0367

資											
面方洋南内	面 方 東 南										
第百十二設營隊	第百三十一設營隊	第百二十一設營隊	第百一設營隊	第三十四設營隊	第三十二設營隊	第二十八設營隊	第二十六設營隊	第二十二設營隊	第二十設營隊	第十九設營隊	第十六設營隊
第四建築部	第八建築部										
施設本部補給部	施設本部補給部										
<p>二 特設設營隊ニ對ス ル補給ハ上記同方面 ニ在ル特設建築部之 ニ任ズルヲ例トシ必 要ニ應ジ當該内地擔 任應ヨリ直接實施ス ルモノトス</p>											

0368

工事費整理		材					
		北方方面	支那及西南方面			西南方面	
		第三十設營隊				第一臨時設營隊	第二十四設營隊
第八建築部	第四建築部		第三百三建築部	第一百一建築部	第一建築部	海南建築部	第一百二建築部
施設本部補給部		大湊建築部	佐世保建築部			吳建築部	

0369

海軍公報 (部内限) 第四千四百三號

海軍大臣官房

昭和十八年六月二日(水)

○令達

官房空機密第九七九號

大東亞戰爭中海軍航空本部關係兵器ニシテ外戰部隊所屬ノ各艦船部隊又ハ艦隊若ハ戰隊司令部ヨリノ請求ニ依リ搭載兵器竝ニ機體、發動機及プロペラノ補用品(備品、消耗品)ヲ供給スル場合ニ限リ該所轄ニ供給ノ完備飛行機ニ組替整理(附着拂)トナスコトヲ得

昭和十八年五月三十一日

海軍大臣

官房需第一二五號

從來ノ各長主管艦營需品定額表數量中他主管渡ノ數量ヲ削リ其ノ數量ヲ本主管ニ合算スルモノトス

昭和十八年六月一日

海軍大臣

○通牒

軍需需第一四二號

昭和十八年五月三十一日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

艦營需品定額表他主管渡數量削除ニ件ノ處理ニ關スル件通牒

官房需第一二五號ヲ以テ改訂セラレタル首題ノ件ハ他主管渡ノ物品ニシテ常時使用セザルモノヲ準備シ置クハ不經濟ナルニ付死藏ニ類スル物品ハ極力還納セシメ物資ノ活用ヲ期スル主旨ニ有之候條本主旨ニ該當スル物品ハ必要ナル場合其ノ都度本主管ヨリ貸與又ハ供給セシムルモノト了知相成度

航本機密第七五二號

昭和十八年五月三十一日

海軍航空本部總務部長

(部内限)

海軍公報(部内限) 第四千四百三號 昭和十八年六月二日

五三九

0370

第一、第二
第二十
第六十一
南東
南西
方面
海軍航空廠總務部長
殿

第三
第四
第五
海軍航空廠長

大東亞戰爭中航本關係兵器整理ニ關スル
件通牒(整備長主管)

官房空機密第九七九號ニ依ル首題ノ件ハ外戰部隊ニ供
給ノ完備飛行機ノ搭載兵器又ハ補用品ハ之ヲ戰隊又ハ
艦隊宛ニ一括輸送シ各司令部ニテ適宜分配スル現狀ナ
リ從テ各所轄ノ請求ヲ俟テ之ヲ整理スル時ハ長日時ヲ
要スルノミナラズ輸送中ノ事故亡失等ノ爲整理不能ノ
モノヲ生ズル實狀ナルヲ以テ自今斯ル場合該兵器ハ組
替整理ノ上主體兵器ニ附着拂ト爲シ又過剩品若ハ不足
品ヲ生ゼシ場合ニハ元受又ハ組替更訂整理ヲナシ得ル
義ニ有之候條了知相成度

艦本機密第一一號ノ七一〇
昭和十八年六月一日

關係各廳長殿

移管ニ伴フ兵器名竝ニ供用兵器ニ關スル
件申進

海軍艦政本部總務部長
海軍航空本部總務部長

達第一二五號及軍務一機密第三九七號通知ニ關聯シ海
軍艦政本部關係ヨリ海軍航空本部關係ニ移管スベキ兵
器名ハ別紙ノ通トシ供給貸與中ノ兵器ノ整理ニ關シテ
ハ左記ニ依リ(兵器簿制定ノモノニ對シテハ逐次之ヲ
改訂セラルルモ差當リ本申進ニ依ル)處理ノコトニ定
メラレ候

追テ兵備品會計官吏、兵備品取扱主任各相互間ニ於
テハ特ニ關係書類ノ作製ヲ省略シ帳簿ノ轉記ニ停ム
ルコトトシ兵器經理規程所定ノ手續ハ之ヲ要セザル
義ト了知相成度

記

- 一 航空機、航空隊及航空基地關係ノモノハ別紙ニ依
リ新主管ニ移ス
- 二 司令部等ニ供給貸與中ノモノハ左ノ區分ニ從ヒ整
理ス
- (イ) 航空艦隊司令部及航空戰隊司令部

0371

海軍航空本部關係

(ロ) 艦隊司令部、戰隊司令部及其ノ他

海軍艦政本部關係

(別紙添)

○ 辭令

地方事務官 入江 壽男

海南警備府附ヲ免ス(五月同)

臺灣總督府專賣局技師 御竿 信吉

海南警備府ヲ免ス(六月同)

事務員 橋口 頼之

第六海軍軍用郵便所員ヲ免ス(五月同)

海軍書記 村松 玄夫

文官分限令第十一條第一項第二號ニ依リ休職ヲ命ス

(現勤同)

○ 雜款

○ 永久服役

左記ノ者ハ五月二十五日海軍武官服役令第八條ノ規定ニ依ル現役ニ服セシメラル

海軍技術大尉

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

橋本 香一

原子 徳藏

久郷 昌夫

伊東 祐正

倉田 博順

木村 勘一

井關 吾朗

本田 英昌

山本 勝郎

伊東 辰雄

上原 益夫

中森 一誠

向山 金雄

田村 喜八

野崎 善藏

福本 芳治

川端 郁太郎

細野 國男

湯田 温平

小池 友兄

荒井 正

海軍公報(部内限)第四百四百三號 昭和十八年六月二日

五四

0372

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
富岡昭則	齋藤秀夫	平木一夫	西田龜久夫	内藤雅悟	福島義穰	米本義之	繁富勉	奥名重信	米田誠之	和田良雄	黒澤弘正	田中武雄	久野重夫	黒川武	乙部聖爾	徳光博文	松岡五六	冲中治	和田禎夫	川崎元雄				

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
高梨亭	竹内孝	大内義一	大澤正夫	横河安雄	松本愛吉	嘉田隆美	盛岡英治郎	亀岡志郎	牧浦隆太郎	中西清三	松原啓弍	齋藤逸雄	佐近仁男	大橋正	井原芳雄	三浦次雄	船木武綱	豊永隆	中里一郎	久保田一晟				

0373

(各通)

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 海軍技術少尉
 同 同 同
 武藤 中川 柳田 近藤 別府 細井 吉村 西川 占部 荒井 富田 宮城島 塚原 藤川 音田 堀口 藤井 關正 中村 安田
 義彦 三彦 龍彦 誠彦 直彦 次彦 爾二 夫 雄 實 男 吾 雄 人 夫 信 義 二

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 則包 伊藤 吉田 高市 藤村 杉本 田中 吉田 大谷 小川 加藤 平松 重留 里吉 杉野 水野 谷貝 武藤 内田 初瀬 杉山
 夫 一 三 悟 雄 次 男 盛 男 重 馬 雄 章 郎 一 榮 博 行 陽 司 實 一 茂 治

0374

五四三

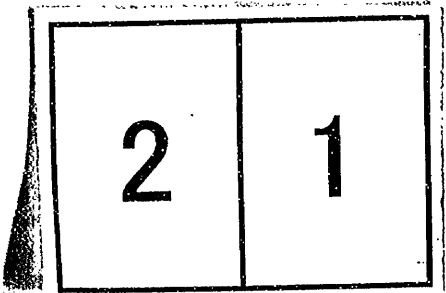
海軍技術少尉 川口 信久
 同 栗田 武雄
 同 兵藤 喜造
 同 木下 正治
 同 赤木 將光
 同 品田 弘
 同 原 秀夫
 同 安問 彰一
 同 鈴木 春雄
 同 原田 保二
 同 見永 忠之
 同 長 彌壽男
 同 二村 稔
 同 豐永 圭馬
 同 藤野 榮
 同 青山 幸英
 同 古賀 衛
 同 見砂 一郎
 同 杉田 誠
 同 飯尾 正男
 同 米今 國彦

同 岩崎 三千男
 同 中野 誠
 同 西野 正哉
 同 杉山 哲男
 同 岡本 正春
 同 上島 外二
 同 武村 文二
 同 嶋津 正
 同 川村 陽一
 同 古住 俊一
 同 池田 久三郎
 同 宮浦 正明
 同 河村 一利
 同 神垣 信雄

○學生入校期日
 近ク任命豫定ノ本校高等科學生六月十九日始業式ニ付
 其ノ前日迄ニ入校セシメラレ度
 (海軍軍醫學校)

0375

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	一水雷兵器
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

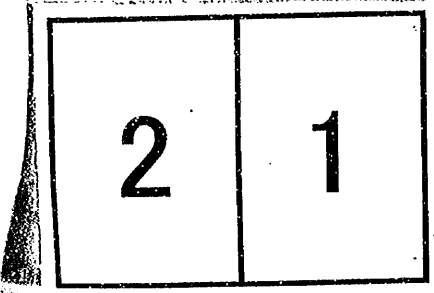
別紙一
一 水雷兵器

(昭和十八年六月二日海軍公報(部内限))

備考		管主新主	
品名	管	品名	管
九一式魚雷	改一	安定裝置試驗器	
同	改二	要具 筐	九〇式爆發尖三型用
同	改三	同	九一式魚雷改三驅水頭部二型用
實用頭部	九一式魚雷用	同	九一式魚雷驅水頭部二型用
同	九一式魚雷改二用	要具	安定裝置用
同	九一式魚雷改三用	縱舵機調整臺	九一式縱舵機用陸上用
試驗要具筐	九一式魚雷用	同	九一式縱舵機用
同	九一式魚雷改一、二用	同	陸上用
同	九一式魚雷改三用	縱舵機兼安定機調整臺	同上
同	九一式魚雷改三用	同	同上
同	九一式魚雷改三用	採收兼曳揚環三型	改一
同	九一式魚雷改三用	深度機試驗器	九一式魚雷用
同	九一式魚雷改三用	調整臺	同右用
同	九一式魚雷改三用	同	同右用
同	九一式魚雷改三用	手入臺	同右用
同	九一式魚雷改三用	調整臺	木製四十五糎魚雷用
同	九一式魚雷改三用	推進器模型	九一式魚雷用
同	九一式魚雷改三用	魚雷同轉器	一號
同	九一式魚雷改三用	九一式擬雷	改一
同	九一式魚雷改三用	同	改一
同	九一式魚雷改三用	魚雷射表	飛行機用
同	九一式魚雷改三用	同	飛行機用
同	九一式魚雷改三用	同	對主力艦飛行機用
同	九一式魚雷改三用	同	對巡洋艦飛行機用
同	九一式魚雷改三用	飛行機管擊机上演習機	
同	九一式魚雷改三用	四十五糎航空機魚雷	
同	九一式魚雷改三用	同	改一
同	九一式魚雷改三用	四年式縱舵機	飛行機用
同	九一式魚雷改三用	九四式魚雷二型	
同	九一式魚雷改三用	九一式魚雷切斷模型	
同	九一式魚雷改三用	實用頭部	九四式魚雷二型用
同	九一式魚雷改三用	實用頭部炸藥	同右用
同	九一式魚雷改三用	驅水頭部二型	同右用
同	九一式魚雷改三用	要具 筐	同右用
同	九一式魚雷改三用	試驗要具筐	同右用
同	九一式魚雷改三用	補用品筐	同右用
同	九一式魚雷改三用	問座 筐	同右用
同	九一式魚雷改三用	進推器模型	同右用
同	九一式魚雷改三用	深度機試驗器	同右用
同	九一式魚雷改三用	雷道頭部	同右用
同	九一式魚雷改三用	要具 筐	九四式魚雷二型驅水頭部二型用
同	九一式魚雷改三用	九四式一型擬製魚雷	
同	九一式魚雷改三用	九四式二型擬製魚雷	
同	九一式魚雷改三用	運搬車	四十五糎航空機魚雷用

0377 0376

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	無線楽器
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

別紙二
無線兵器

(昭和十八年六月二日海軍公報(部内限))

管主新主	品名	管主新主	品名
長	九二式三號送信機	通	五號蓄電池
信	九二式四號送信機	通	八九式空二號無線電信機
通	九五式短三號送信機	通	九三式空二號
長	同	通	九四式空一號
信	九五式短四號送信機	通	同 空二號
通	同	通	九六式空一號
長	九七式短一號送信機	通	同 空二號
信	九七式短二號送信機	通	同 空三號
通	九八式二號送信機	通	同 空四號
長	九九式短二號送信機	通	ワイヤレス式空三號無線電話機
信	試製飛行機用送信機	通	九六式空一號
通	九二式特受信機	通	九八式空三號隊内
長	九二式特受信機	通	九八式空四號隊内
信	電動直流發電機	通	テレンケン社製戰闘機用無線電話機
通	同	通	試製一式空一號無線電話機
長	整流機	通	二式空三號無線電信機
信	同	通	試製一式空三號
通	同	通	同 空四號
長	同	通	同 空五號
信	同	通	航空機無線不感實驗裝置
通	同	通	一式空三號隊内無線電話機
長	電動直流發電機	通	假稱二式空六號無線電信機
信	電動交流直流通電機	通	航空機用特殊電波探信儀
通	二號無線電話機送話機二型	通	一式空三號無線探投方位測定機
長	九三式一號方位測定機	通	零式空四號
信	假稱九七式移動方位測定機	通	テ一ム式空四號
通	九三式短方位測定機	通	夕式空三號
長	九二式電波鑑査機	通	試製二式空七號無線電信機
信	九二式短電波鑑査機	通	同 二式空八號
通	九五式超短波送信機	通	同 航空機盲目着陸裝置
長	九三式超短波受信機	通	同 航空機受信機盲目着陸用
信	九七式超短波受信機	通	試製九七式空一號無線探投方位測定機
通	九七式無線自動車	通	同 空二號
長	九八式無線自動車	通	同 空三號
信	一式一號無線自動車	通	小型方位測定機
通	テ一ム式輕便無線電信機	通	九四式空短測波器
長	一式短移動無線電信機	通	九四式空測波器
信	移動ガソリン無線用一KVA一〇〇V	通	試製航空機無線操縱裝置
通	交流發電機	通	無線標識
長	同	通	假稱九六式三號航路無線標識送信機
信	同	通	九七式一號通信演習機
通	同	通	同
長	九九式短測波器	通	九七式印字機
信	九九式短測波器	通	
通	九九式短測波器	通	

0379 0378

管 主 新 舊	長海航	長術砲	機		通		信		長										
品名	二キロ信號燈一型	連揚信號燈二型	高聲令達機	電鍵	ディーゼル直流發電機機	石油空氣壓縮ポンプ	起動氣蓄器	ディーゼル交流發電機機	電動昇壓機	電動可逆發電機	電動機	電動ポンプ	配電盤及管制盤	三號蓄電池	電氣淨水器	充電器及整流器類	電氣サイレン	交流卓上扇風機	變壓器
名	交流一〇〇V改二	交流改陸上用 〇〇V	陸用各種	四型交流用	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種

管 主 新 舊	機		通		信		長											
品名	電熱器	照明兵器	電路兵器	電氣時計裝置	絶緣試驗器	導通試驗器	直流電壓計	交流電流計	交流電流計	蓄電池檢電器	淨水PH測定器	水質計	電機補修器具筐器具共	電氣掃除器	電氣鑢付機	直流電壓計	電路補修器具筐器具共	ガンリン交流發電機機
名	各種	各種	各種	各種	各種	二型	各種	各種	各種	各種	小型電池用	各種	各種	各種	二五〇〇V	攜帶用各種	各種	各種

三電氣兵器

長通	長關機	長		信		通	
品名	同	同	同	同	同	同	同
名	陸上型	陸上用	陸上用	陸上用	陸上用	陸上用	陸上用

長		信		通	
品名	一式短移動無線電信機	移動ガンリン無線機	同	同	同
名	無線用一KVA七三V	無線用一KVA七三V	無線用一KVA七三V	無線用一KVA七三V	無線用一KVA七三V

長		信		通																												
品名	一式空三號隊內無線電話機	假稱二式空六號無線電信機	航空機用特殊電波探信機	一式空三號無線歸投方位測定機	零式空四號	一式空四號	夕式空三號	試製二式空七號無線電信機	同二式空八號	同航空機盲目着陸裝置	同航空機受信機盲目着陸用	試製九七式空一號無線歸投方位測定機	同空二號	同空三號	小型方位測定機	九四式空短測波器	九四式空測波器	試製航空機無線操縱裝置	無線標識	同假稱九六式三號航路無線標識送信機	試製着陸無線標識受信機	九七式一號通信演習機	同	九七式印字機	同	水晶發振子	真空管	其ノ他小兵器				
名	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千四百四號

海軍大臣官房

昭和十八年六月三日(木)

○ 令 達

官房人第一〇七六號

特務士官以下ノ配員特例ニ關シ左ノ通定

昭和十八年六月一日

海軍大臣

海軍諸例
附登載

大東亞戰爭中左ノ各號ノ配員ニ關シテハ必要アル場合
海軍省人事局長ヲシテ直接關係ノ艦船部隊其ノ他各部
ニ指示セシム

- 一 飛行兵曹出身タル特務士官、准士官及掌飛行兵
- 二 整備兵曹出身タル特務士官、准士官及搭乗整備

前項ノ規定ニ依リ海軍省人事局長配員ヲ指示セルトキ
ハ速カニ之ヲ本人ノ在籍鎮守府司令長官ニ通報スルモ
ノトス
本規定ニ依ル場合在籍鎮守府司令長官ノ配員ニ關スル
命令ハ之ヲ省略スルコトヲ得

○ 雜 款

○司令潜水艦變更
第三十三潜水隊司令ハ五月二十七日司令潜水艦ヲ呂號
第六十四潜水艦ニ變更セリ

○本日普通公報發行セズ

海軍公報(部内限) 第四千四百四號 昭和十八年六月三日

五四五

0380

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千四百五號

昭和十八年六月四日(金)

海軍大臣官房

○通牒

契九機密第二三號

昭和十八年五月三日

海軍省 經理局長

各鎮守府參謀長
大湊、大阪警備府參謀長 殿

海軍各應勞務者用價格特配酒取扱要領ニ
關スル件申進

昭和十八年五月七日大藏省告示第二百四號第一項第一號ニ依リ指定セラレタル酒類庫出税ノ輕減ヲ爲スヘキ酒類ニシテ海軍各應勞務者ノ用ニ供スヘキ酒類ノ配給ハ別紙海軍各應勞務者用價格特配酒取扱要領ニ依リ處理方可然取計相成度

(別紙)

海軍各應勞務者用價格特配酒取扱要領

一 配給ノ範圍及數量

海軍公報 (部内限) 第四千四百五號

昭和十八年六月四日

五四七

- (イ) 海軍各應勞務者用價格特配酒ハ成年男子タル雇員、傭人、工員、鑛員及一個月以上ニ渉ル官役人夫中勞務(事務其ノ他輕微ナルモノヲ除ク)ニ從事スル者ニシテ價格特配酒ヲ必要トスルモノニ對シ之ヲ配給ス但シ左ノ各號ニ該當スルモノニ對シテハ配給ヲ停止スルモノトス
- (一) 精勤ナラサルモノ
- (二) 懲戒スヘキ行爲アリタルモノ
- (ロ) 價格特配酒ノ配給ハ海軍共濟物資部(以下物資部ト稱ス)ニ於テ實施スルモノトシ配給ノ範圍數量ハ關係各應ト連絡ノ上之カ適正ヲ期スルモノトス
- 各應ハ前項但書ニ依リ配給ヲ停止スヘキモノニ付テハ其ノ都度之ヲ關係物資部ニ通知スルモノトス
- (ハ) 價格特配酒ノ割當標準ハ概ネ左ノ程度トシ狀況ニ應シ各割當數量ノ範圍内ニ於テ三割以内ヲ増加又ハ減少スルコトヲ得

0381

級別	細目	一年間配給標準量	
		清酒、合成 酒及燒酎	麥酒
特	鑛員中坑内作業ニ 従事スル者	一〇〇	一〇
甲	勞務ノ程度ニ應シ 適宜區分ス	八四	七
乙		四八	四
丙		二五	二

配給ハ毎月實施スルヲ原則トシ麥酒ニ付テハ特ニ
季節ヲ考慮シテ配給スルモノトス、

(ニ) 狀況ニ依リ各酒類ノ代替配給ヲ爲シ得ルモノト
シ代替配給換算比率ハ清酒ヲ基準トシ左ノ割合ニ
依ルコト

清酒及合成清酒 一〇合
燒酎 八合
麥酒 一七・八合(大塚五本)

(ホ) 非飲酒者數ハ一應一律ニ成年男子勞務者數ノ二
割ト看做シ割當ラルヘキモ特ニ非飲酒者ニハ絶對
ニ配給セサルコト、シ新ニ飲酒ノ習慣ヲ助長セサ
ル様指導上留意スルコト
割當及出荷手續

(イ) 海軍省經理局ハ大藏省主稅局ト協議シ每四半期
海軍各廳勞務者用價格特配酒ノ割當ヲ受ケタル上
當該期間各月別該當數量ヲ定メ細目計畫書(別紙
様式第一)ヲ當該物資部ニ送付ス

(ロ) 物資部ハ前項割當數量ヲ地方配給統制機關(道
府縣酒類販賣株式會社又ハ地方麥酒販賣株式會
社)ヨリ買受クルモノトス

(ハ) 地方配給機關ニ對シテハ大藏省主稅局ヨリ關係
財務局長及中央配給統制機關ヲ通シ出荷ニ關シ手
配スルコトニ定メラレアリ

三 末端配給

(イ) 配給責任者ハ物資部長トシ物資部ハ物資部名及
部長官氏名其ノ他所要事項ヲ所轄稅務署ニ通知ス
ルモノトス(一)物資部ガ一定地域ヲ包括シテ配給
スル場合ハ當該地域ノ各稅務署長ニ對シ通知スル
コト)

(ロ) 配給ハ各勞務者ニ對シ切符ヲ交付シ之ト引換ニ
實施スルモノトス

工員宿舍酒保等ニテ配給スル場合ハ通帳又ハ小切
符等適宜ノ方法ヲ定メ個人宛配給數量ヲ明確ナラ
シムル如ク措置スルヲ要ス

0382

<p>(ハ) 物資部ハ配給ニ關シ切符類ノ様式、交付方法、引換方法其ノ他必要ナル事項ニ付取扱細目ヲ定メ關係各部ニ周知セシムルト共ニ寫二通ヲ經理局ニ送付スルモノトス</p> <p>(ニ) 切符類ニハ概ネ左ノ事項ヲ明記スルモノトス 受配給者ノ職種、身分、氏名、年齢、一箇月配給基準量</p> <p>(ホ) 配給ニ當リ配給ノ本旨ニ合致セザル數量ヲ配給シ或ハ他ノ用途ニ流用セシムル等ノコ下アリタルトキハ税法違反等ニ間擬セララルヘキニ付取扱者ニ對シ充分注意ヲ喚起セシムルモノトス</p> <p>(ヘ) 物資部ハ毎月配給実績ニ付調書(別紙様式第二)ヲ作製シ經理局及所轄稅務署ニ通知スルモノトス</p> <p>備考 取扱要領第一項イノ事務其他輕微ナル勞務ニ服スルモノニ對シテハ別ニ數量特配ヲ爲スコトアルヘシ (別紙二葉添)</p> <p>軍需第一二九號 昭和十八年六月三日</p>	<p>關係各廳長殿 海軍省軍需局長</p> <p>蚊取線香等供給(購入)ニ關スル件通牒 本年五月十六日軍務第二第九七號ヲ以テデング熱豫防ニ關スル件海軍省軍務局長並ニ海軍省醫務局長ヨリ申進相成候處右ニ要スル蚊取線香等ニ關シテハ昭和十三年六月軍需第二〇三號ニ依リ臺灣、南洋群島及外國派遣艦船部隊ニ要スル分ハ治療品(防疫用消耗品)トシテ供給(購入)ノコトト相成居候條子知相成度</p> <p>(參照) 經營需品燃料取扱例規二八七頁</p> <p>教育機密第一五四號 昭和十八年六月三日</p> <p>海軍省軍務局長 海軍省教育局長</p> <p>各鎮守府、警備府參謀長 練習聯合航空總隊參謀長 殿 部外軍事講習ニ關スル件申進</p> <p>部外海事及航空關係員並ニ諸學校學生生徒(教職員ヲ含ム)ニ對スル軍事講習ハ現時局下海軍要員獲得上特ニ緊要ト認メラルルニ付努メテ之ヲ實施ノコトニ取計ヒ相成度</p>
--	---

海軍公報(部内限)第四千四百五號 昭和十八年六月四日

0383

○ 辭 令

貳千六百拾圓 清水宗四郎
 貳千六百拾圓 二宮京助
 (各通) 貳千六百拾圓 矢倉貫一
 千七百貳拾八圓 尾張政友
 徵用中自今年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官
 待遇トス(以上欄註詳海軍省)
 參千六百拾八圓 黒坂基文
 貳千參百五拾貳圓 猪塚智
 千五百貳拾四圓 本間金一郎
 貳千八百八圓 國松芳太郎
 貳千四百七拾貳圓 矢澤昇
 (各通) 千五百貳拾四圓 晴山武次郎
 千四百六拾四圓 嵯山大典
 貳千九百四圓 竹田佐平
 參千貳百五拾貳圓 荒木彌惣吉
 千七百四拾圓 水牧安次郎
 貳千貳百六拾八圓 玉置勇次郎
 徵用中自今年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官
 待遇トス(ハ同)

貳千五百貳拾圓 堀 夢四郎
 貳千圓 杉谷玄遊
 千四百拾圓 福家英也
 (各通) 參千貳拾圓 松田一
 貳千參百四拾圓 阿久根耕平
 千貳百圓 南 信安
 千五百六拾圓 阪根寅次
 徵用中自今年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官
 待遇トス(ハ同)
 海軍軍醫中佐 遠藤忠孝
 同 村上松壽
 同 徳田虎之助
 海軍軍醫少佐 原田昌雄
 同 新家武夫
 同 佐藤俊太郎
 同 吉村盛夫
 同 濱崎靜雄
 同 小林繁
 海軍軍醫大尉 長橋一雄
 同 小切間一武
 同 小澤淳二

(各通)

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
善木	今里	松尾	佐藤	深町	大橋	岩崎	梶田	南部	中垣	宮本	鳥居	鈴木	岡保	鈴木	伊藤	星	吉岡	加藤	新藤	麻田	同	同
豊	格	佐一	哲秀	壯男	丈夫	健彦	權藏	忠藏	仙吾郎	正光	新一	保三	泰彦	迪康	弘之助	宏	光	英夫	榮	同	同	同
昭和十八年度海軍武官任用臨時委員ヲ命ス(五十九号同) 第一海軍經理部香港支 同 同 同 海軍主計大尉 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 海軍主計少佐 同 同 同 部員海軍主計中尉 同 同 同 南 折 加 小 蘆 池 幸 吉 佐 小 佐 鈴 中 茶 立 野 修 石 前 阿 部 南 正 一 折 田 三 郎 加 藤 源 吉 小 島 喜 美 雄 蘆 田 淳 郎 池 田 康 雄 幸 崎 文 平 吉 野 純 夫 佐 野 英 夫 小 林 誠 佐 竹 誠 鈴 田 恒 雄 中 野 英 夫 鈴 田 英 夫 中 野 東 海 艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス																						

海軍公報(部内限)第四千四百五號 昭和十八年六月四日

右同分任出納官吉ヲ免ス
海軍主計中尉 岩松 悌二郎

同 立野 修

中華民國香港方面ニ於ケル準備購入材料物品費支拂
ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス

同 岩松 悌二郎

臨時資金前渡官吏ヲ免ス(以上^{五五}同)支出官 海軍省經
理局長)

同 川崎 七三郎

日本丸ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經
費分任出納官ヲ命ス(以上^{五五}同)

○ 雜 款

○事務引繼
在中華民國香港臨時資金前渡官吏五月十九日事務引繼
ヲ了ス

前任 海軍主計中尉 岩松 悌二郎
後任 同 立野 修

○事務所撤去
伊號第百八十一潜水艦艇裝具事務所ハ五月二十四日撤
去セリ

○正誤

五月二十九日附公報(部内限)五二一頁上段八行目東
京海軍通信隊附ヲ免シ函館在勤海軍武官府附ヲ命スノ
下(以上^{五五}同)トアルハ(以上^{五五}同)ノ誤

○本日普通公報發行セズ

(別紙第一)

昭和 年 月分酒類ノ産業用價格特配細目計畫書

(昭和十八年六月四日公報(部内限))

取扱機關名

(昭和 年 月 日提出)

一 業 種 別

二 指定割當標準

〔何〕府縣

計		何 郡市何 村町	工場(事業場) 又(團體) 名	所 在 地	成年男子 勞務者數	要 配 給 人 員	配 給 石 數			摘 要
							清酒又ハ 合成清酒	燒 酎	麥 酒	

0387

(別紙第二)

昭和 年 月分酒類ノ産業價格特配実績調書

(昭和十八年六月四日公報(部内限))

一 配給状況

指定割當標準量
物資部割當量

取扱物資部名

(昭和 年 月 日提出)

合 合

0383

應別	何工廠			何建築部			計
	乙	甲	特	乙	甲	特	
級別配給單位量							
成年男子 勞務者數							
配給人員							
配給量							
摘 要							

(註)

一 燒酒及麥酒ハ清酒量ニ換算シ記入ノコト

二 指定割當標準量及物資部割當量ハ特配酒取扱要領別紙第一ニ依リ通知シタル當該月數量(糖酎、麥酒、
換算)ヲ記載スルコト

三 割當及配給量ハ何レモ実績ニ依ルコト

二 受拂數量

品種	前月ヨリ繰越	本月受	本月拂	翌月へ繰越	摘 要
清酒及合成酒					
燒酎					
麥酒					

三 納入者住所氏名

品種	住所	氏名	摘要
清酒			
合成清酒			
燒酎			
麥酒			

四 特配ニ對スル意見等

(部) 内 (限)

海軍公報

(部内限) 第四千四百六號

海軍大臣官房

昭和十八年六月五日(七)

○令達

官房軍第六三七號

左ニ依リ報國號飛行機命名式ヲ施行セリ

昭和十八年六月三日

一、命名式舉行日時、場所

日時 昭和十八年六月四日(金曜日) 一二三〇

場所 東京劇場

二、命名スベキ飛行機番號、名稱、機種、獻納者氏名

海軍大臣

報國番號	名	稱	機種	獻納者氏名
第一〇九二號	東京	麴町區號	艦上戦闘機	
第一〇九三號	東京	麻布區號		
第一〇九四號	東京	赤坂區號		
第一〇九五號	東京	四谷區號		
第一〇九六號	東京	牛込區號		
第一〇九七號	東京	深川區號		
第一〇九八號	東京	品川區號		

海軍公報(部内限) 第四千四百六號 昭和十八年六月五日

五五三

0389

第一〇九九號	東京荏原區號		
第一一〇〇號	東京目黒區號		
第一一〇一號	東京大森區號		
第一一〇二號	東京蒲田區號		
第一一〇三號	東京澁谷區號		
第一一〇四號	東京淀橋區號		
第一一〇五號	東京杉並區號		
第一一〇六號	東京瀧野川區號		
第一一〇七號	東京板橋區號		
第一一〇八號	東京向島區號		
第一一〇九號	東京葛飾區號		
第一一一〇號	第一東京市號	艦上戰闘機	
第一一一一號	第二東京市號	艦上爆撃機	

大政翼賛會東京支部
軍用機獻納會長
東京市長 陸軍大將 岸本綾夫

三、命名式主務廳 海軍省軍務局
四、命名式委員長 海軍省軍務局第四課長

官房軍第六三九號
三菱重工業株式會社長崎造船所ニ於テ建造ノ曳船兼交

0390

通船二隻及交通船二隻ヲ雜役船ニ編入シ船名、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十八年六月四日

海軍大臣

船名	船種	所屬	定數別	記事
英彦	曳船兼交通船 (二百五十噸)	佐世保海軍工廠	臨時所屬	
雲仙	同 (同)			
必勝	交通船 (五百五十噸)			
報國	同 (同)			

官房人機密第二三九號

昭和十七年官房機密第一五五六一號別冊中左ノ通改正ス

昭和十八年六月四日

海軍大臣

内令
登載

第一號ハ中「下士官又ハ兵長」ヲ「現役及應召ノ下士官又ハ兵長」ニ、
同號ハ中「記載スルモノトス」ヲ「記載シ服役延期中又ハ應召中ノ者ハ夫々上部欄外ニ(延)又ハ(召)ト朱書ス

スルモノトス」ニ改ム

第三號中イ乃至ハヲ左ノ如ク改メニ及リヲ削ル

(イ) 普通科各種練習生ハ當該練習生ノ選抜資格條件ニ依ル職階ノ制限ニ拘ラズ海軍兵(豫備員ヲ除ク)ヨリ之ヲ選抜及採用ス但シ服役延期、應召及補充兵等ヨリ選抜及採用スル必要アルトキハ別ニ令達ス

(ロ) 普通科各種練習生ハ主トシテ新兵教程履修中ノ二等兵ヨリ採用ス

鎮守府司令長官ハ海兵團長ヲシテ新兵教程修業中ノ成績ヲ斟酌シテ練習生候補者ヲ選抜セシムルモノトス但シ選抜ノ要領等ニ關シテハ鎮守府司令長官ノ定ムル所ニ依ル

(ハ) 普通科各種練習生ノ採用ハ前號ニ依ルノ外當分ノ間艦船部隊其ノ他各部ニ勤務中ノ一等兵以上ヨリ左ノ各號ニ依リ採用ス

(一) 普通科各種練習生採用學力試験ヲ施行セズ

(二) 鎮守府司令長官ハ當該鎮守府在籍一等兵以上ノ勤務スル艦船部隊其ノ他各部ノ長ニ對シ普通科各種練習生候補者ノ選抜制當員數ヲ定メ通牒ス但シ制當區分ハホ表中ノ下欄區分ニ依ル

海軍公報(部内限) 第四千四百六號 昭和十八年六月五日 五五五

0391

同號(ホ)中「採用學力試験ヲ施行シ之ニ依リ」ヲ削リホ
ヲ(ニ)トス
同號(ヘ)中表備考ヲ左ノ如ク改メ(ヘ)ヲ(ホ)トシ以下順次繰
上グ
普通科兵器整備術練習生雷爆兵器整備專修者ハ整備兵
及水兵ヨリ選抜スルモノトス
第六號(イ)中「(第一及第二補充兵ヲ含ム)」ヲ「(第一、
第二補充兵及第二國民兵ヲ含ム)」ニ改ム
第七號(イ)表選抜範圍役種ヲ欄中「應召(第一、第二補
充兵ヲ含ム)」ヲ「應召(第一、第二補充兵及第二國民
兵ヲ含ム)」ニ改ム
附則第一號中「及特修科水測術練習生」ヲ「、特修科

記

水測術練習生及特修科電信術練習生」ニ、「第三號(ホ)
ヲ「第三號(ニ)」ニ改ム
(參照) 昭和十七年官房機密第一五六一號ハ大東亞戰爭中各種練
習生及各種講習員ノ選抜及採用等ニ關スル特例ノ件ナリ
(内令提要卷一、六七〇ノ一)
官房機密第二八二七號
昭和十八年六月四日
海軍大臣
各鎮守府長官殿
兵器供給ノ件訓令
所屬海軍軍需部ヲシテ在庫兵器ヲ左記ノ通供給セシム
ベシ

供給先	品名	數	量	記	事
潜水艦全部	假稱三式發泡筒	伊號潜水艦一艦ニ付 呂號潜水艦二艦ニ付	一八個 九個	三個以内訓練用トシテ消耗差 支ヘナシ	(二箱ハ九個入)

○通牒

官房經第六三一號
昭和十七年官房第一九五二號中左ノ通改正ス

0392

昭和十八年六月三日

海軍次官

「應召中」ヲ「應徵又ハ應召中」ニ、「賃錢等級」ヲ「給料等級」ニ、「召集セラレタル者」ヲ「召集中」ヲ「徵集又ハ召集セラレタル者」ヲ「徵集又ハ召集中」ニ改ム
本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ適用ス但シ賃錢等級ヲ給料等級ニ改正スル部分ハ昭和十八年五月二十一日ヨリ之ヲ適用ス

(参照) 海軍會計法規類集二卷八〇八ノ二三頁

海人第三〇號ノ一一五

昭和十八年六月三日

海軍省
海軍省人事局長
則登載

關係各廳長殿

下士官及兵ノ人事取扱ニ關スル件申進

大東亞戰爭中行方不明ト爲リタル下士官及兵ハ送ルコトナク當該所轄ニ於テ人事ヲ處理スルコトニ定セラレ候但シ解隊又ハ除籍其ノ他已ムヲ得ザル理由ニ依リ送籍スルノ必要アルトキハ行方不明者ニ對シテ戰死等ノ認定資料トナルベキ現職證明書本簿(恩給簿)及在籍領守府ノ海兵團ニ送付スル義ト了相知相

海軍公報(部内限)第四千四百六號 昭和十八年六月五日

成度

軍需機密第三六〇號

昭和十八年六月三日

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長殿

全波受信機供給ニ關スル件通牒

今般官房軍需機密第三三三號ヲ以テ首題物品供給竝ニ裝備等ニ關シ改正セラレ候處製作ノ關係上短期間内ニ全般ニ供給スルコトハ不可能ノ實情ニ有之差當リ購買中ノモノヲ納入次第概ネ左記順序ニ依リ逐次供給セシメラルル内意ニ有之候

記

艦隊、戰隊司令部、同上麾下艦艇(旗艦潜水艦、司令潜水艦、潜水艦ノ順ニ優先供給)陸上諸部隊(以上外戰部隊)其ノ他

海運機密第五〇〇號

昭和十八年六月三日

海軍運輸部長

海軍省配屬輸送艦船
特務艦長、監督官、船長)殿

五五七

0393

輸送ノ増強ニ關スル件申進

輸送ノ増強ニ關シテハ屢申進致シ置キタル處要輸送物資ノ激増ニ伴ヒ一層輸送能率ヲ強化スル要切ナルモノアリ最近中央ヨリノ指令ナキノ故ヲ以テ各地ニ於ケル緊急還送品等ノ輸送ヲ拒否スルコトアルヤニ仄聞スルモ昭和十七年官房機密第一九〇一號南方物資輸送規定(海軍主擔任區域、陸軍主擔任區域、佛印、泰、支那、內南洋、臺灣ニ適用、昭和十七年二月十三日海軍公報參照)ヲ以テ「現地指揮官ハ軍事上支障ナキ範圍ニ於テ輸送艦船ニ對シ指示以外ノ物資ノ輸送ニツキ之ヲ活用シ得ルモノトス」ト定メラレアリ中央ヨリ指定セラレタル搭載量ニ對シ船腹餘裕アル場合ハ行動上支障ナキ限り自ら進ンデ現地指揮官ニ連絡シ以テ輸送ノ強化ニ挺身セラル、様致度依命

○辭令

第二十二特別根據 地隊附海軍兵曹長 藤本 精一
海軍軍法會議法第七十三條ノ二ニ依リ海軍司法警察官トシテ勤務スル者ニ指定ス

山口 勇雄

海軍軍法會議法第七十三條ノ二ニ依リ海軍司法警察官トシテ勤務スル者ニ指定中ノ處指定ヲ解ク(以上 海軍大臣)

軍令部出仕海軍少佐 岡田 裕
第四部第九課勤務ヲ命ス(三十五軍令部)

○雜款

○開隊
洲ノ埼航空隊(假稱安房海軍航空隊) 六月一日開隊ニ付左ニ依リ取計ハレ度
一 旅行方法(順路)
房總西線安房北條驛下車、航空隊行バス終點(宮城)ニテ下車後徒歩ニテ約十五分(安房北條驛ヨリ西方約五軒)

○正誤
五月三十一日附公報(部内限) 通牒欄經給第八九號中「給與掌理者」ニ「ハ」ノ給與掌理者」ニ、「」ノ誤

0394